

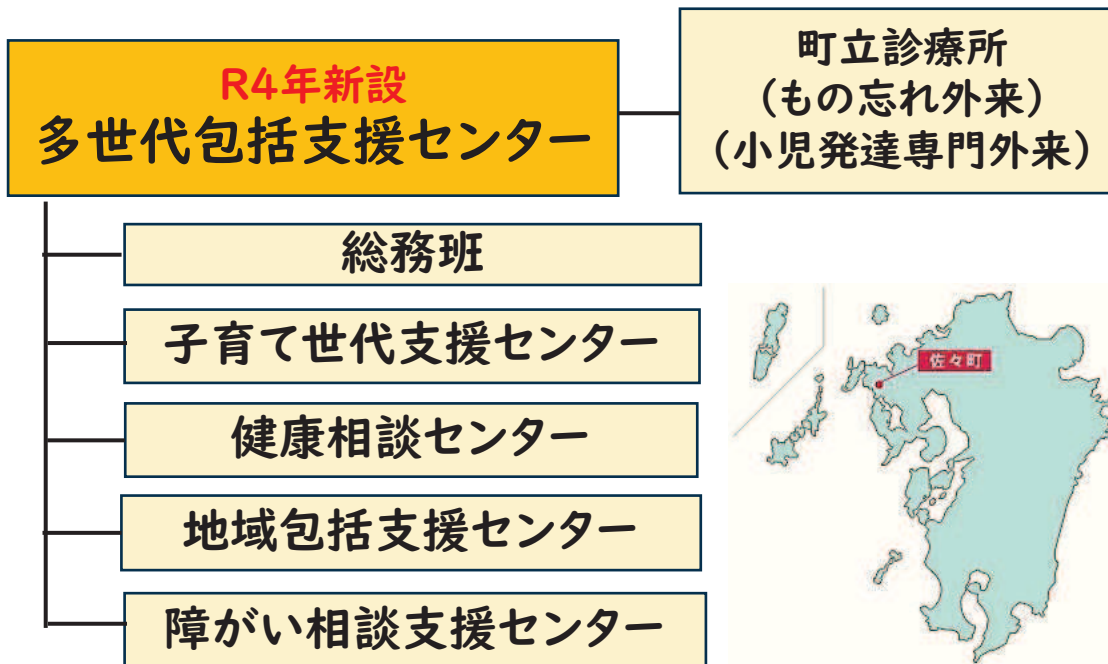
## 佐々町における 住民主体の地域づくり

佐々町役場  
多世代包括支援センター  
保健師 江田



# 佐々町概要

	R6.4
人口	13,870人
世帯数	6,181人
65～74歳	1,939人
75歳以上	2,089人
高齢者合計	4,028人
高齢化率	29.0%
出生数	130人
出生率	9.4%



多世代包括支援センター 職員配置  
※( )内の人数は会計年度任用職員

職種	人数
保健師	8(2)
管理栄養士	2(1)
看護師	(1)
主任介護支援専門員 介護支援専門員	(4) (2)
社会福祉士	(1)
事務職	3(1)
計	13(12)



佐々で暮らす

生きることを、学ぼう。

URL <http://matsura.jp/movie>

佐々で暮らす

検索

※右上のメニューボタン「佐々動画」にて閲覧できます。

## 高齢分野の地域包括ケア から 多世代地域包括ケアへ

佐々町では、地域福祉計画において、子ども・高齢・障がいという従来の制度の枠を超えて、人と人と社会がつながり、誰もが生きがいや役割を持ち、支え合う「地域共生社会」の実現に向けた『地域まるごとケア＝多世代地域包括ケア』を掲げています



これからの佐々町の未来のために  
世代をこえて 分野をこえて、つながっていきます

住民の生活に関わる部署は多岐にわたる  
 担当部署が気づき、繋がる  
**縦割りではなく組織横断的な支援体制へ**

R3年まで	R4年～
保険環境課 <b>健康相談センター</b> (子育て支援、予防接種、健康増進事業、精神保健 等)	<b>多世代包括支援センター</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援</li> <li>・健康づくり支援</li> <li>・高齢者支援</li> <li>・障がい者(児)支援</li> <li>・ひきこもり支援</li> <li>・ボランティア支援</li> <li>・生活保護、生活困窮者自立支援 (一部、佐々町社会福祉協議会) など</li> </ul>
住民福祉課 <b>地域包括支援センター</b> (介護予防、高齢者支援等) <b>障がい相談窓口</b>	

同じ敷地内にある、**社会福祉協議会**との連携も強化!!

地域共生社会に向けた  
 ‘地域まるごとケア’

役場本庁舎より  
 車で3分程度!

1階  
 多世代  
 包括支援  
 センター



佐々町総合福祉センター

町立診療所  
 とも隣接

2階	住民主体の通いの場(元気カフェぷらっと) →火曜・水曜・金曜 居場所(フリースペースなずな) →月曜・木曜 ※その他、一般浴場、ロビー等あり		
1階	多世代交流 スペース →梅松カフェ 第1木曜	佐々町社会 福祉協議会	子育てひろば (ぷくぷくクラブ) →火曜・水曜・ 金曜

# 居場所は多様であっていい ～自分らしく過ごすことができる場所へ～

## 元気カフェ・ぷらっと



子どもから高齢者まで、  
日頃から、独りで悩まず  
通える場所、  
気軽に話せる場所  
～自分の居場所づくり～

## 認知症カフェ・梅松

## 子育てひろば(ぷくぷくクラブ)



## フリースペースなずな



## 地域の通いの場



# 佐々町元気カフェ・ぷらっと

- ☆ ぷらっとサロン
- ☆ ぷらっと生活支援  
(含む外出支援)

あたたかい雰囲気の中、人と人が寄り添い語り合う、ほっとくつろげる場  
ぷら～っと寄って見てください。  
みんなの笑顔があなたを待っています。



事業の目的及び必要性	年齢・障がいの有無を問わず、それぞれの生涯現役を目指し、また人と人とのつながりの場を通じて支え合う地域づくりの貢献に寄与する。
対象者	どなたでも
事業内容	<p>福祉センター2階ロビー及び和室にて、コミュニティカフェを展開することにより、下記内容を目的とした活動を行う。</p> <p>①誰でも気軽に利用できる寄り合いの場の提供 * 和室において、運動や趣味活動による介護予防活動を行う。</p> <p>②住民同士の支え合い活動 * サロンにおいては、サービスを利用する側、提供する側の双方における支え合い活動とする。家庭での困りごとには訪問による生活支援を行う。</p> <p>③世代間交流のきっかけとなる活動 * 定期的なイベントやワークショップを開催することにより、地域づくりにおける興味や関心を広げ、新たな活躍者を発掘する。</p> <p>④関係機関と連携した総合相談 * 様々な団体とネットワークをつなぎ、問題解決の糸口となる活動を行う。</p>
実施場所	福祉センター2階
実施時期・頻度	平成28年6月1日開始 火・水・金曜(10:30~15:00)
実施体制	<p>実施主体: 佐々町元気カフェ・ぷらっと 会員45名</p> <p>連携支援: 食生活改善推進協議会・社会福祉協議会 老人福祉施設虹の里・老健施設煌きの里</p>
効果・目標	<p>高齢者や障がい・介護の有無を問わず、誰もが生涯現役の生きがいを感じられる活動の場をつくり、また、誰もが安心して集うことができる居場所をつくることで、町民が未来に明るい希望を持ち、笑顔で幸せを感じられる拠点をつくと共に、移住・定住の促進を図る。</p> <p>この拠点における取り組みが地域に広がっていくことで、町民みんなで支え合い助け合い、世代間の交流をしながら、地域の課題を地域で解決していく、持続的な地域づくりに資することを目標とする。</p>

## 地区集会所の通いの場

### ◎いきいき百歳体操 H27年～

(町内28か所)

毎週1～2回

☆いきいき百歳体操

☆スクエアステップ

体力づくり・語らい・助け合い

地域はみんなを待っています！



### ◎地域デイサービス H7年～

(町内29か所)

月1回

☆脳レクレーション

☆会食会

☆手作業

☆カラオケなど



## 地域まるごとサロン へ

R6年4月～

みんな食堂や  
夏休み・冬休み等を活かした  
世代や分野を超えた居場所づくり



## 地域まるごとサロン

多世代が『つながり・支え合い・学び合い』

これからの未来に向けて  
大切なものを伝えていきたい



そこにいるだけで、みんなが役割を持っている

地域力の可能性は無限大





# 『地域ケア会議』(H22年～)における 自立支援型ケアマネジメント支援・生活行為評価導入

- ◆ 「生活行為復活」に向けての意欲目標の設定
- ◆ 「何をしてほしいですか」→「何ができるようになりたいですか」
- ◆ 「期間的自立支援」か「永続的自立支援」の判断
- ◆ 「切れ目ない支援」を目指す地域包括ケアの実現

H30年～  
障がい福祉分野の  
多機関連携協働  
地域ケア会議も  
始まりました!!

介護状態になら  
れる前の地域で  
のお姿、そして  
可能性は!

事業所のうり  
の再発見!

介護関係者のスキルとは・・・  
介護の専門化として、将来を予測し、  
自立支援に向けての目標設定・方法を提案できること。  
要望解決型プランでは意味がない。

『地域ケア会議』は、保険者と介護関係者がチームとなり、  
自立支援と地域包括ケアへの方向性を見出し、確認し合う場。  
\* その後の本人・家族への合意形成能力も重要!

この場で解決  
策出ない時は  
地域支援会議  
にかけてみよう

GH入所後も、  
以前楽しんでい  
た地域のサロン  
に通えないかな

給付適正の意  
味合いが強くな  
ることも・・・

何年もかけて夫・ヘルパーに  
依存、通所は嫌! 身体機能  
はなるがまま落ちている。  
長年、放置してきたこの状態  
を、どこから打開していくか。  
みんなあきらめていた・・・



## 地域ネットワーク情報交換会 (H23年～)

町内会長会・民生児童委員協議会や老人クラブ連合会・福祉協力委員等と連携を図り、地域支援に関する情報交換会を定例（各地区年1回）で行い、日頃の支援体制の強化を図る。

地域包括支援センター・社会福祉協議会との協働事業となる (R1年～)

個の支援 ⇒ 地域づくり

点の支援から、  
線の支援・面の  
支援へ

地域づくりのきっかけの場



## 地区割り担当制の導入(H25年～)

地域住民のやる気に十分に responding いくために！  
7人の職員で32か所を、  
高齢者人口の同等規模を分けて受け持つ

「本人の望む暮らし」の実現に向けて  
関係機関への調整や橋渡しをする役割を担う

- 高齢者見守りネットワーク情報交換会
- 総合事業対象者・予防給付利用者のプラン作成はもちろん
- ケアマネ支援
- イキイキ百歳体操支援
- 担当地区の相談はなんでも対応

など

### 「生活支援コーディネーター的役割」

町内会長さんや民生委員さん、地域の方々としっかりつながってます。

「私がこの地区の担当です。  
まかせて下さい(\*^\_^\*)」

- ☆ 初期の段階での問題解決に大きな効果
- ☆ 職員の地域づくりへの自覚が芽生えた。各職員が個の支援から地域づくりを考えるようになった。
- ☆ 地域づくりに関与し地域力を体感することにより、地域住民への尊敬の念がより一層深まった。

地域によって職員が育つ



『地域は縦割りではない』  
分野を問わないアウトリーチを強化した相談支援

## 地域支援会議（H16年～）

佐々町内・近隣市町の医療機関、  
薬局、介護保険関連施設・事業所、  
行政関係（保健所）等

## 障がい支援会議（R3～）

障がい者・児等の関係事業所、  
行政関係 等

## 高齢・障がい地域支援会議（R5～）

【目的】 複雑で多様化する課題への対応と地域共生社会の実現に向けて、  
介護分野、障がい分野の連携を促進し、地域課題の解決を図る

【参加者】 佐々町内・近隣市町の医療機関、介護保険事業所、  
障がい福祉サービス事業所、行政関係（保健所）等

【内容】 全体会

介護在宅部会、介護施設部会、  
就労支援部会、相談支援部会、  
子ども部会の5つの部会に分かれて  
意見交換・課題検討 等

【開催頻度】 2か月に1回（偶数月）



地域の  
子どもたち

# さざまる市場

【目的】  
地域コミュニティの活性化、障がいの理解促進

【コンセプト】  
世代や分野を超えてつながることにより、お互いを理解し支え合える関係をつくろう

個人や団体にとって  
☆つながる・楽しむ・笑顔になれる場  
☆みんなが活躍できる場  
☆したいことを実現できる場

障がい事業所の活動展示や作品・農作物販売、  
作品づくり体験コーナー、子どもたちのアート展示、  
認知症カフェ、レクリエーション 等々

障がい事業所

介護事業所

多世代包括  
支援センター

社会福祉協議会

観光協会  
商工会

地域の方々

ボランティア  
団体

図書館

学校  
(小・中・高校、大学)

# 第1回 令和5年3月12日

**3.12** 場所 総合福祉センター (佐々町 市場免23-1)  
**日曜日** 問い合わせ先: 佐々町多世代包括支援センター



～障がい者への理解促進・啓発事業～

**第1回 さざまる市場**  
 9時から12時まで

みんな、来んお！  
 来んお！

楽しいイベント  
 待ってるよ！

- 【販売】障がい者作業所の手作り商品 (小物関係、野菜、食品など)
- 【イートインコーナー】ほっこりカフェ (フリースペースなすな)
- 【イベント】ひらば解放 (ぶくぶくクラブ)
- 【展示】A・B型就労事業所と放課後デイサービスの紹介

問い合わせ先: 地域包括支援センター  
 電話番号: 0956-62-6122

主催: 佐々町障がい支援会

# 第2回 令和5年8月4日



さざまる市場  
 夏まつり

さざ

約450人の  
 方々のご参加  
 あり!

約300名の  
 方々の  
 ご参加あり!



## 佐々町総合計画

### 【将来像】

暮らしたいちばん！住むならさぎ  
～みんなが輝き、みんなで作るまち～

## 佐々町保健福祉総合計画

R6年3月策定



### 【基本方針】

ひとりひとりに寄り  
添う佐々モデルの  
さらなる展開

多様性を喜んで  
受け入れる  
やさしいまちづ  
くり

楽しみながら  
自然に健康に  
なるまちづくり

### 【基本理念】

生涯現役の推進による健康づくり

目指す姿 『したいこと』 を続けながら自分らしく暮らせる

みんな活躍による地域コミュニティの活性化

これまでの取り組みにおいて大切にしてきたこと・・・

可能性を見出し、  
可能性にかけた関わり

ポジティブに強みを活かした事業展開！

地域住民が自らのこととして自覚をし  
動き出すきっかけを創り、  
動きやすいように状況を整える

### 確信していること

人は現状を理解し、期待され、  
役割を持てば、自然と力を発揮し出す。

地域の特性を活かす  
「わかりやすく・継続しやすく・発展しやすい」  
なんととっても「楽しい！」

介護保険制度や医療保険制度、障害福祉サービスの中に  
住んでいる人ではない、地域の中に住んでいる人。  
まずは地域の中から支援体制を考える = 地域づくりにつながる

**「地域」と「人」とじっくりふれあって**

**『地域力』を最大限に引き出す**



多様化、複雑化していく地域において、  
誰もが幸せに暮らせる地域を築いていくため、何が必要なのか  
それぞれの社会的役割が十分に発揮されれば、  
素晴らしい地域力(住民・専門職・行政等)となることでしょう

【専門職の役割とは】

- 健康寿命の延伸を推進する重要な役割。(老いの受容も含めて)
- 老いや障がいを持つ方の社会復帰を支えるエキスパート。その為の土壌づくり

【課題と展望】

- 医療と介護の文化の違いを受入れ、在宅(地域)へのこだわりを考える
- 地域の中のその人をイメージした在宅復帰に向けてのケア
- 医療・介護・障がいの現場から、その方の在宅生活のイメージ・目標の共有化
- 人の幸せを支える専門職同士が力を合わせ、最善のサポート体制を築く



お互いの役割を認め、尊重し、高め合う  
多職種が顔の見える関係づくり  
成功体験の共有化

～ 地域に立ち戻って 個を通じて ～

住民主体の地域づくりにおける専門職の関わりについて・・・

包括センター3職種（保健師・主任CM・社会福祉士）のやりたいことに、地域リハの力が入れれば加速全開

地域を知ってなんぼ。  
受け入れられるのも  
聞いてもらえるのも

地域づくりは  
山登りのよう

## ネットワークが活きる仕組みづくり 地域への誠実さと熱意

- ◇ 行政・専門職のおごりであってはいけない
- ◇ 常識にとらわれない着想
- ◇ 肌感覚を大切に
- ◇ 目指すべきビジョンの共有
- ◇ 入り口の視点により成果は決まる
- ◇ 地域を広く、将来を見据える視点

